

令和元年度(平成30年度実施事業分) 事務事業評価評価票

No. 17-056

PDCA	事務事業名	地域介護・福祉空間整備等事業	部課等名	福祉部 高齢介護課 介護保険担当	担当	藤塚	
					内線等	375	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第2節 地域福祉の推進 基本施策： 2. 高齢者福祉 単位施策： (4) 介護保険の充実 個別施策： ②介護サービスの充実					
	根拠法令等	半田市地域介護・福祉空間整備等補助金交付要綱					
	対象・目的	市内各地域のニーズに応じバランスのとれた地域密着型サービス施設の整備を推進するため、整備に係る建設工事費や整備施設の円滑な開設のための準備経費等に対し補助金を交付することで、ハード面から、要介護者が住み慣れた地域で安心して必要なサービスを受けられる環境を整える。					
	目的を達成するための手段・活動内容	愛知県の介護施設等整備事業補助金を活用し、公募等にて決定した地域密着型サービス事業所等の整備工事費に係る補助金を適正に交付する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①施設整備等補助金交付施設数	1	1	0	事業所	
		②スプリンクラー等整備補助金交付施設数	0	0	0	事業所	
		③公募等により選定した設置・運営事業者数	2	1	1	事業者	
		事業費	35,105	43,178	0	千円	
		人件費	3,494	3,363	2,998	千円	
		総事業費	38,599	46,541	2,998	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①整備実施施設1事業所当りの事務費	1,164,500	1,681,500	0	円		
	②選定した設置・運営事業者1事業者当りの事務費	1,164,500	1,681,500	2,998,000	円		
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①第7期整備計画 施設整備数	実績値	1	1	0	施設
			目標値	3	1	1	
②第7期整備計画 事業者選定数		実績値	1	1	1	施設	
		目標値	2	1	1		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	D 平成29年度公募により決定していた看護小規模多機能型居宅介護の施設整備については、選定事業者から辞退の申し出があったため、平成30年度の補助金交付実績はなかった。また、第7期の整備計画に基づき、公募を実施し認知症対応型通所介護1施設の設置・運営法人の決定を行った。なお、公募の結果応募のなかった施設について、令和元年度に設置・運営法人の募集を行う。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持 令和元年度は、平成30年度公募により決定した認知症対応型通所介護1施設の施設整備に係る補助金交付を行い、第7期事業計画に計上した地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護及び、平成30年度に辞退のあった看護小規模多機能型居宅介護の設置・運営事業者を公募により募集し優先候補者の決定を行う。また、定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び地域密着型通所介護サービスについては随時相談を受け付ける。				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①第7期整備計画 施設整備数	1	施設		
			②第7期整備計画 事業者選定数	2	施設		